

編集後記

暑く長い残暑も衆議院選挙の自民党圧勝を聞くうちに消え、虎党の歓喜は秋の到来をもたらしたようです。10月号は「海外の建設施工」として特集を組みました。日本の建設業の海外工事への関わり、世界各地で展開される大型のインフラストラクチャ整備工事、ISO化する建設機械のグローバル安全基準、受注状況など各分野の最前線で活躍される方々の報文を掲載しております。ご多忙の中、ご執筆いただいた方々に深くお礼申し上げます。

巻頭言で本協会の名譽会長でもある玉光国際建設技術協会会長は「費用を出来るだけ低減して、しかも安全快適である環境を作ることが求められる時代であり、世界中がそれぞれの知恵をしばって技術を開発し、それを皆で分け合い助け合う国際協力の必要性は何時の時代も続くことであろう」と締めくくられています。国際的に激化する競争がある一方で、貧困や飢餓に喘ぎ国際的な支援を多く必要とする国・地域も多く、その救済の意味でもインフラストラクチャ整備などへの技術支援は、国を超えた協力の必要性があるという普遍的な事実を再認識させられました。

地震・台風にさらされる狭い国土の中で、最小のコストにより安全・品質・工程を確保しつつ環境配慮・対策を実践する日本の建設業の技術力は非常に高いレベルにあると考えます。日本のODAはとかく資金援助という皮相的な評価をされがちですが、先のような幅広い先進技術に対して、当事者にアピールし、理解・評価されることも必要と感じます。ノーベル平和賞受賞でもあるケニアのマータイ副環境相が「もったいない」の有用性を説くまでもなく、古来、日本では3Rの源である節約は美德とされてきております。節約のコンセプト自体は広義に西洋文化で言う合理化の一種ともいえますが、美德は頭で数値的判断して合理化する以前に日本人が体得している一つの文化であると言えるのではないでしょうか。

このようなルーツを背景とした日本の建設文化、Japan Methodを海外に流布することができれば、近隣アジア諸国を含め国際的な日本への理解・信頼に繋がるのではと編集を通じて感じた次第です。今も厳しい環境の中、海外でご活躍される皆様のご健勝とご健闘をお祈りいたします。

(森本・吉村)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宣史
渡邊 和夫	

編集委員長

村松 敏光

編集委員

清水 純	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
照井 敏弘	農林水産省
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
植松 和弘	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
平子 啓二	水資源機構
吉村 豊	電源開発
松本 敏雄	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
星野 春夫	竹中工務店
銅冶 祐司	東亜建設工業
中山 努	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
芥藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
三柳 直毅	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

11月号「トンネル・シールド 特集」予告

- ・トンネル技術の動向
- ・東北新幹線八甲田トンネルの施工
- ・大断面TBM断面の設計と施工—東海北陸自動車道飛騨トンネル—
- ・トンネル換気設備の効率的な維持管理手法について
- ・新しい空洞調査手法の開発
- ・先行アーチ支保による地山補強工法—眼鏡トンネル中央導坑から本坑支保施工
- ・遠心力トンネル吹抜け工法
- ・大断面シールド工法
- ・地盤改良を必要としない発進・到達工法

No.668 「建設の施工企画」 2005年10月号

(定価) 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成17年10月20日印刷

平成17年10月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒950-0965 新潟市新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380